

## 義足製作パンフレット「はじめての義足」の紹介

研究所補装具製作部 天野裕子 山崎伸也 中村隆 三田友記 久保勉 三ツ本敦子 飛松好子

【はじめに】義足製作・訓練目的で入院される方の動向が変化している。補装具製作部の調査において、①高齢切断者の増加、②血管原性疾患による切断者の増加の2点が注目されている。この現状において、特に高齢の入院患者に関して次のような課題を感じる人が多い。

- 1) 切断後、義足をはけばすぐに歩けるという期待や希望が大きい。しかし、義足歩行を獲得するにはご本人の努力が必要不可欠であることを訓練の中で改めて体感する。
- 2) 「この先はどのような訓練があるのか」、「義足が出来たらすぐに退院出来るか」等の想いを持ちながら入院生活を送っている。
- 3) 仕事が忙しくて時間が取れない、遠くに住んでいる等の理由でお見舞いに訪れる家族が少なく、退院後の生活環境に関わるであろう方々の理解が得られにくい。
- 4) 独居・年金暮らしの方が多く義足代金の支払の件で不安を持っている人が多い。

これらから、義足製作・訓練に関わる情報を明確にご本人に伝えること、医療スタッフと入院患者、及びその周囲の方々でそれを共有することを目指し、入院患者向け義足製作パンフレットを作成したので紹介する。

【方法】義肢装具士が切断者から入院中に感じる素朴な疑問を集め部内で討議し、提供すべき必要な情報として次の4項目を中心に内容を構成した。

- 1) 義足製作までに必要な基礎知識（スタッフの紹介、断端管理や幻肢の知識 等）
- 2) 義足製作・訓練の流れ（全体のスケジュール、製作・訓練の具体的内容 等）
- 3) 義足使用の注意点（訓練中・退院後日常生活での注意点、困ったときの対処法 等）
- 4) 費用の手続に関する情報（支払い手続きの方法、本義足申請の方法 等）

また関連部門にも協力を依頼し各部門の意見を取り入れた。パンフレットは一般的な義足製作・訓練の基本スケジュールに沿って、①入院時 ②製作開始時 ③訓練時 ④完成(退院後)時の4部作となった。本人だけでなく家族や介護者にも理解しやすいシンプルな内容とした。パンフレットのタイトルは「はじめての義足」とした。

【結果】本年度7月より義足製作・訓練目的の入院患者へ配布を開始した。「元気の出るパンフレットだ」「早く杖で歩きたいと思うようになった」「幻肢のところは何度も読んだ」と様々な感想が得られた。ご本人の関心のある部分をいつでも読めるところが前向きな感想に繋がったと推測する。

【おわりに】内容は随時変更可能であるため、より多くの患者・スタッフの皆様のご意見を反映出来たらと考えている。今後は義足製作・訓練に関しての共通認識が増え、患者様とスタッフとの間でコミュニケーションの更なる活性化が図れ、義足製作開始から完成まで滞りなく進むことを期待している。

【謝辞】パンフレット作成にあたり義足製作・訓練に関わるスタッフの方々に内容の確認・ご意見、及び写真の提供等のご協力を頂きました。皆様に心より感謝申し上げます。